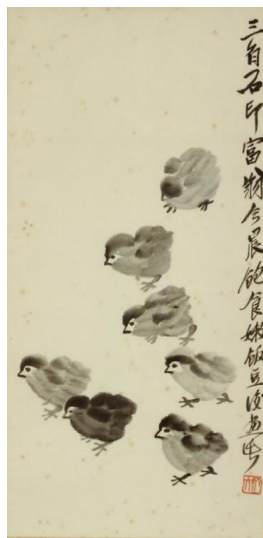


日	曜	ふくやま書道美術館常設展示室・展示室
1	水	展示替えのため 休館
2	木	
3	金	<h2>夏の所蔵品展 II 「学校の先生—中国書画にみる教育者の姿」</h2> <p>会期：2026年7月3日(金)～8月23日(日)</p> <p>休館日：月曜休館 ※7月20日(月・祝)は開館、7月21日(火)は休館。</p> <p>会 場：常設展示室・展示室</p>
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	<h3>展覧会内容</h3> <p>当館では中国書画のコレクションが一群を成しており、所蔵品作家の中には「教育者」という立場で書文化・中国芸術を守り抜いた人物たちがいます。清代まで書芸文化の学びは科挙に向け私塾や文人系で育まれるものでしたが、清朝滅亡後、科挙制度が廃止されると、清朝の進士であった李瑞清が「師範・先生」を養成することの必要性を説き、文化を教育として「学校」で育てゆく動きが始まりました。その後、北京、上海、杭州で広まり、齊白石、潘天寿、諸楽三、沈尹默、朱屺瞻、陳大羽、凌文淵、呉東邁などが各地で教鞭をとりました。本展覧会では、中国近代教育の歴史とともに民国から現代までの「教育者」たちの書画を展覧します。彼らの生きた時代は政治的変転を繰り返した時代であり、中共の文革では「文化の焦土」を体験しました。中国の精神的基軸ともいえる書(画)を、生涯をかけて守り継いだ「教育者」たちの作品を通し、彼らの世俗の狂騒に屈することのない文人としての精神と情熱を感じ取っていただきます。</p>
14	火	
15	水	
16	木	
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	
22	水	
23	木	
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	



李瑞清《松梅図軸》



齊白石《雛鶏図軸》



呉東邁《篆書郭沫若詩七言絶句軸》

古代文字を書く♪ワークショップ参加者募集！！

【ワークショップの内容】

漢字の基となった古代文字(象形文字)を筆で書きます。完成した作品は軸装し、8月1日(土)～8月16日(日)にふくやま美術館2階・多目的室で開催される「第21回一緒にかく古代文字展」で展示します。

【日時】 6月27日(土)・28(日)
7月 4日(土)・5日(日) 各日午後1時～

【場所】 ふくやま美術館2階多目的室

【対象】 家族や友達など、2名以上で参加できる方

【参加費】 1人2,000円 (材料+軸装費含む)



【お申し込み方法】

はがき又はメールで、以下の必要事項①～④を明記の上、お申し込みください。

- ①代表者(保護者)の名前
- ②参加する人の名前(中学生以下は年齢も)
- ③代表者の郵便番号、住所、電話番号
- ④第1希望日と第2希望日

※各日定員12グループ。応募者多数の場合は抽選となります。

- はがき宛先→〒720-0067 広島県福山市西町二丁目4番3号
ふくやま書道美術館「ワークショップ募集」係
- メール宛先→syodo@city.fukuyama.hiroshima.jp
【申込締切】6月21日(日) 必着

所蔵品展観覧料

一般	150円(120円)
高校生以下無料	

※()内は有料20名以上の団体料金

次の方は観覧料が無料です

- 社会福祉施設に入所されている方 (入館料観覧料減免申請書の提出が必要)
- 福山市、府中市、神石高原町に住所を有する65歳以上の方
(運転免許証やマイナンバーカードなど、住所・年齢が確認できるものが必要)
- 身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方、及びその介護者1名

※開館時間は午前9時30分から午後5時までです。

※月曜日【 】の日は休館日です。



〒720-0067 福山市西町二丁目4番3号
J R 福山駅福山城口(北口)から西へ約400m TEL 084-925-9222

Webページ www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/fukuyama-syodo/
電子メール syodo@city.fukuyama.hiroshima.jp